

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	20	05	たかつ区健康福祉まつり事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			岡部	64813

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・体脂肪、骨密度、血管年齢などの健康測定 ・健康や権利擁護などの各種相談 ・各団体の手作り製品の販売やバザー ・ダンスや合唱、体操などのイベントの開催 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		すこやか・支え合いまちづくり事業費			
		平成2年度	—						
地域の課題と現状		少子高齢化や核家族化の進展、住民相互のつながりの希薄化が進む中、健康維持や社会参加を地域ぐるみで考える必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,060	980	1,109	920	1,052	17	252	16
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,060	980	1,109	921	1,052	17	252	16

計画 (Plan)	
事業の目的	高齢者や子ども、障害者を含む多くの区民や団体が交流を深め、健康や福祉を共に考え、見守り支え合いの地域づくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大のため、今年度の実施を見合わせる。別の方法を検討し、団体の活動紹介を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・市政だより高津区版に団体の活動紹介記事を掲載し、広く区民に健康や福祉を考えるきっかけづくりとした。令和3年度11月号から令和4年度4月号に5団体の活動を紹介した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標	たかつ健康福祉まつりの開催(来場者数)			1,500	1,300	1,300	0	人
			実績	1,500	1,300	0	0			
	2					目標				
			実績							
	3					目標				
実績										
4					目標					
		実績								

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、自助互助の促進が益々求められる。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(4年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		実行委員会設置要綱を見直し、複数の部会に出席する委員の数を減らして運営の効率化と委員の負担軽減を図る予定。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、自助互助の促進が益々求められる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		b
	評価の理由	新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため評価できない。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため評価できないが、今後は感染症対策を講じながら事業を実施するため、実施方法などの見直しを行う。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	少子・高齢化の進展により、地域社会における市民の助け合いの重要性が高まっている。新型コロナウイルスの影響はあるが、協働によって地域で暮らす区民が健康や福祉を共に考える場の提供・参加団体間の交流のさらなる充実を目指していく。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	20	10	高津区地域包括支援ネットワーク推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/地域支援課/高齢・障害課		岡部/植木/飯村	64813/64831/64622	

事業の概要									
事業の概要		区民の在宅医療の理解を深めるため、シンポジウムを開催する。 高津区高齢者見守りネットワーク事業の交流会・講演会の開催やリーフレットの配布などを通じて、見守り・支え合いの意識を高め、見守り活動の立上げの支援を行う。 分譲マンションでの良好なコミュニティの形成のため、課題に応じたつながりづくりの活動の支援、講演会・交流会の開催を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		すこやか・支え合いまちづくり事業費			
		平成26年度	—						
地域の課題と現状		医療的なケアが必要な在宅の要介護高齢者が増加するため、在宅医療の普及啓発が必要である。 支援が必要な高齢者などが地域のコミュニティ意識の低下により孤立しがちなため、地域社会全体で見守る体制が必要である。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,329	1,640	2,314	1,588	2,397	1,211	1,420	1,125
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2,329	1,640	2,314	1,588	2,397	1,211	1,420	1,125

計画 (Plan)	
事業の目的	住み慣れた地域で安心して暮らして続けられるように、在宅医療の普及啓発や見守り・支え合いの地域づくりを進める。
今年度の事業の取組内容	区民が在宅医療の理解を深めることができるよう、感染症対策を行いながらシンポジウムを開催する。 高齢者の見守りについて、通常業務の中で実施する。 分譲マンションを対象に課題に応じたつながりづくりの活動の支援を行うほか、交流会の開催を行う。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・「住み慣れた家で最後まで暮らすために」をテーマに訪問診療について理解を深める在宅医療シンポジウムを開催した。 ・マンションでのつながりづくりに役立つ好事例をまとめたリーフレットを作成し配布した。またマンションに関する課題や取組を共有する交流会「また会いましょう会」を開催した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	在宅医療シンポジウムの開催(参加者)	目標	80	80	80	30	人
				実績	108	48	42	25	
	2	成果指標	高津区高齢者見守りネットワーク事業交流会・学習会の実施(参加者)	目標	80	80	60	0	人
				実績	70	57	0	0	
	3	活動指標	高津区高齢者見守りネットワーク事業のリーフレット配布	目標	—	500	200	0	部
実績				—	130	0	0		
4	活動指標	マンションにおけるつながりづくり交流会の開催(実施回数)	目標	1	1	2	2	回	
			実績	1	1	3	3		

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		2025年問題の対策として、地域包括ケアシステムの推進は重要な課題であり、地域力を高め、区民、地域の活動団体、行政等が、それぞれの役割の中で、お互いに力を合わせ、地域課題の解決に努める地域社会の醸成が求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・マンションつながり事業における交流会について、年1回での開催から複数回の回数に変更した。これによりマンションに関する様々な課題をテーマに取り上げることができた。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、自助互助の促進がますます求められる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	在宅医療やマンションでのつながりづくりの普及啓発を通じて、自助互助を促進することができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高齢者の見守りについては地域包括支援センター等が主体となり実施されており、町内会等の地縁組織で活発に行われている地域もある。先駆的に行われている地域の活動を他地域においても地域包括圏域会議等を活用し普及啓発する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 在宅医療に関する理解がさらに深まるように事業内容を工夫しながら、引き続きシンポジウム等のイベント開催を行う。 区内の分譲マンションにおける住民間や地域との「つながりづくり」の取組を支援するとともに、交流会やリーフレット等を通じて好事例を区内へ発信することなどにより、地域における良好なコミュニティの形成を推進する。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	20	15	すこやか地域推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675130		地域みまもり支援センター 地域支援課		藤原	64831	

事業の概要

事業の概要		有酸素運動、筋力トレーニング、柔軟体操の要素が組み込まれている「高津公園体操」を地域に普及することで介護予防、見守り体制を推進する。							
実施期間		事業開始年度 平成19年		事業終了年度 —		予算中事業		すこやか・支えあいまちづくり事業	
地域の課題と現状		超高齢社会の中で、市民が主体的に健康づくりや介護予防に取り組む体制を作っていく必要がある。また、地域における見守り体制の構築には多くの区民が関心を持っており、住民同士の関係が希薄化する中で、公園体操を軸に住民同士の連帯を進めていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	312	294	296	276	270	62	106	75
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	30	16	30	10		14	20	24
	一般財源	282	278	296	266	270	48	86	51

計画 (Plan)

事業の目的	介護予防に加え「閉じこもり予防」「見守り活動」も含めた各地域のコミュニティの活性化を目指す。
今年度の事業の取組内容	①普及啓発のための体験会・すでに参加している区民へのフォローアップ研修を合同で開催(年1回) ②公園体操立ち上げのための研修会の実施 ③グループリーダー交流会の実施(年1回) ④CD/カセット・DVDの委託販売 ⑤保健師によるグループ支援 ⑥グループ交流会の実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	①公園体操マップを作成し、多世代に周知するために様々な場所で配布を行った②公園体操立ち上げのための研修会の実施③グループリーダー交流会の実施(10団体10名が参加)④CD/カセット・DVDの委託販売⑤保健師によるグループ支援								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	公園体操の活動数	目標	38	40	40	42	団体
				実績	39	39	41	41	
	2	活動指標	体験会・フォローアップ研修の実施	目標	1	1	1	1	会
				実績	1	1	0	1	
	3	活動指標	ガイドマップの作製	目標	3,000	3,000	10,000	10,000	部
				実績	3,000	12,000	10,000	10,000	
	4	活動指標	グループリーダー交流会の実施	目標	1	1	1	1	会
実績				1	1	1	1		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	超高齢社会を地域で支えるために見守り体制の充実が課題であり、地域での多世代交流を推進し、互助の意識を高めていく必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 R2年度から引き続き公園体操ガイドマップを多く作成し、乳幼児健診など高齢者以外の対象に配布していく。また、公園体操の紹介を乳幼児健診の診察待ちスペースに掲示するなど行っていく。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	住み慣れた地域で誰でも気軽に行く事が出来る運動の場が、時代変化と共に求められ、今後も推進していく必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	今年度、立ち上げをした公園が2か所あり、一定の成果があると考えられる。また、既存のグループ支援を行い、交流を通して活動を継続の支援をする事も出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	今年度同様に事業を実施していく。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	少子高齢化の中では、健康づくり・介護予防だけでなく、身近にある多世代の住民の居場所として価値はさらに高まっていく。引き続き公園体操の活動を充実させていく。